

年 組 番 氏名

当欄からみると「折々のことば」は①軒（ ）を接する隣家のよう。言葉の泉の豊かさに感心する毎日だが、さつそと横書きで②オウブン（ ）を紹介されると③嫉妬（ ）が頭をもたげる。「いつか紙面で」と書きとめた④詩歌（ ）が先に使われると心はやはり①湿る▼まぶしくも気になる「折々のことば」を中高生が自作するコンテストに今年は2万7千人が⑤拠（ ）んだ。⑥クワ（ ）しくは本日の紙面に譲るが、当欄でも胸に響いた作品を紹介したい▼まずは受験生に捧げる名言から。「Dは『だめ』のDじやなくて、『大丈夫』のDとよ」。福岡県の中3生が中学受験前、年長のいとこに言われた。志望校の合格判定はD、D、D。いとこの言葉で「まだ間に合う」と思い直し、みごと受かった▼沖縄県の中2生が⑦ア（ ）げたのは⑧ニンチショウ（ ）の進む祖母の言葉だ。「脳では忘れるかもしない。でも、心では絶対に忘れないよ」。孫の名も家への道も忘れる姿に「どうせ、私と過ごしたこと全部忘れるんでしょ」と言つてしまつた時の返事という▼「男は女を裏切るし、女は男を裏切るけれど、科学は私を裏切らない」。⑨ドキツとするひと言を選んだのは横浜市の中1生。科学の先生のそのまた先生の言葉である。男女の裏切りなど人生経験の少ない自分にはわからないが、この言葉は心に直球で届いたと説明する▼当方も日頃せつせと名文句を⑩テチョウ（ ）に集めているものの、中高生好みの歴史や政治の⑪リヨウイキ（ ）にかたよりがち。10代の感性がすくい上げた言葉の宝石に接する幸せをかみしめる。

〔2017年1月6日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 傍線部（1）「湿る」と同意味の用例の選択肢を○で囲もう。  
a ひんやりと湿つた空気 イ 湿つた話は御免だ ウ 湿つた声で話す

問三 傍線部（2）の理由を30字程度で説明してみよう。（ ）

問四 次の入賞・佳作作品の発言者をあととの語群から選び、記号を書き入れよう。（ ）

問五 a 常連校。なんて言うな。一度きりの夏なんだ。（ ）  
b 耳が聞こえづらいから私は皆の顔を見るの。（ ）  
c お互いを落とし合うのは友だちじやない。（ ）  
d 始点と終点が同じだったら、途中どんなベクトルを経由してもいい。（ ）  
e 「微力」だけど「無力」じやない。（ ）  
f 大きくなつたねえ。（ ）  
g 許すはよし、忘れるはなおよし。（ ）

〔語群〕①新聞広告 ②クラスメート ③周りの大人の人たち ④数学の先生  
⑤植林体験授業の参加者 ⑥ロバート・ブラウニング ⑦私のおばあちゃん

問五 最優秀賞は『ハーフ』じやない『ダブル』だ——父（神奈川中1男子）。  
これを説明した次の文章の（ ）に同じ2字熟語をあてはめよう。

・父は、ぼくが日本人×コスタリカ人なのだと（ ）を持たせたいのだ。日本と同じくらいコスタリカのことを知り、（ ）を持って「ダブル」と言いたい